

19 魅力ある観光の振興			
17 魅力ある観光の振興			
主管課名	生活文化スポーツ部 産業振興課		
主管課長名	伊東 良之	電話番号	042-481-7176
関係課名 (組織順)	広報課, 文化生涯学習課, 環境政策課, 緑と公園課, 都市計画課, 図書館, 郷土博物館		
目的	対象	市民, 来訪者	
	意図	市民がまちに愛着と誇りを持つ 多くの来訪者が市内を回遊する	
施策の方向	「古刹・深大寺」, 「映画のまち調布」, 「水木マンガの生まれた街 調布」などの地域資源を磨き上げるとともに, 多様な主体と連携し, 市内外に向けて調布ならではの魅力を効果的にPRすることで, 多くの人々が訪れるにぎわいのあるまちを目指します。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の振り返り — 取組実績（DO）

◆ 令和4年度における取組実績の振り返り

施策の成果向上に向けた主な取組実績 【前期基本計画（令和5年度～令和8年度）の基本的取組毎に記載】
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）
<p>（19-1 多様な主体との連携による地域資源を活用したにぎわいの創出）</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響が少なからずあったものの、観光振興の中心的な役割を担う観光協会をはじめ、多様な主体と連携し、国や東京都のイベント実施基準を遵守したうえで、多くの観光イベントを実施し、観光振興を図ることができた。 「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」の推進については、観光協会や関連企業・自治体と連携して取り組むことで、効果的な展開を図ることができた。 特色ある観光事業の推進に向けて、古刹・深大寺を核とする魅力の発信を図るため、4年ぶりに観光協会が開催した「深大寺 春の和めぐり」を支援し、深大寺周辺の観光振興及び地域経済の再活性化につなげた。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 水木プロダクション、東映アニメーション、イオンシネマ シアタス調布等と連携し、「水木しげるの氏生誕100周年記念プロジェクト」を展開し、「水木マンガの生まれた街 調布」を推進した。 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光振興施策の推進が困難な状況であったが、観光協会と協力し、京王電鉄、京王線沿線他市、石巻観光協会及び木島平村など、市外の関連団体との連携にも力を入れ、観光振興に向けて取り組んだ。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種関連企業と連携したSNS等の広告媒体を活用した情報発信により、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」など、地域資源を活用した調布のまちのPRにつなげた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍以前より発信機会は減少したが、観光協会の公式ホームページや市のホームページをはじめ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる調布の魅力発信を行った。
<p>（19-2 「映画のまち調布」の推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布市文化コミュニティ振興財団やイオンシネマ シアタス調布を含む映画・映像関連企業等と連携し、「映画のまち調布 シネマフェスティバル2023」を開催することで、映画・映像を「つくる」・「楽しむ」・「学ぶ」をテーマとした「映画のまち調布」の推進を図った。具体的には、調布市グリーンホールにおいて、井上あずみファミリーコンサートや「親子映画上映会」を実施したほか、「調布市とカナダ・ケベック州の包括連携に関する共同宣言」に基づくケベック州政府との連携により、市役所前広場で「ケベックフェスティバル」を開催し、にぎわいの創出に努めた。乳幼児とその保護者を対象とする「みる」子どもたちと映画寺子屋上映会、中学生を対象とする「調布ジュニア映画塾」、高校生を対象とする「高校生フィルムコンテスト」など、世代に合わせた調布ならではの体験型ワークショップ等を実施した。 フィルムコミッション事業については、積極的なロケ支援に努め、撮影実績等をホームページなどで公表することで、地域の魅力向上につなげる取組を推進した。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 映画・映像関連企業や団体との連携による「映画のまち調布」を推進した。 近隣自治体や民間事業者等との連携によるロケツーリズムに取り組んだ。

②調布のまちの魅力発信

- ・市内の2つの撮影所をはじめ、40社以上の映画・映像関連企業が集積する「映画のまち調布」をPRするとともに、感染拡大防止策を講じたうえで積極的なフィルムコミッションの取組によるロケツーリズムを推進した。
- ・観光協会と連携し、調布市をメイン舞台として撮影された映画「愛のこむらがえり」のロケ地マップを作成したほか、映画「花束みたいな恋をした」の市内ロケ地を巡る「1Day モデルコース」を考案するとともに、多言語版サイト「GOOD LUCK TRIP」での情報発信を開始した。
- ・市庁舎2階において、「映画のまち調布」撮影支援実績コーナーを新設し、俳優等のサインを展示することで、「映画のまち調布」のPRを行った。

(19-3 「水木マンガの生まれた街 調布」の推進)

- ・名誉市民・水木しげる氏の生誕100周年を記念し、観光や平和などの関連施策の有機的な連動の下に、水木氏の作品や著作に触れる機会の創出に注力したことで、従来からのファンはもとより、子どもから大人まで幅広い世代の興味につなげることができ、「水木マンガの生まれた街 調布」の更なる推進を図った。
- ・「水木しげる氏生誕100周年記念プロジェクト」では、観光協会に加え、水木プロダクションをはじめとする関連企業・自治体と連携し、「ゲゲゲ忌」期間に、東京都の「アニメ等コンテンツを活用した誘客促進事業費補助金」を活用して、グリーンホールでアニメ「ゲゲゲの鬼太郎」第6期の上映会やキャラクターショー、小説家・京極夏彦氏の講演等を実施するとともに、水木氏の生誕日である3月8日に合わせて、アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」第6期に登場した市内のスポットを巡る謎解き周遊イベントを開催した。

①横断的連携による施策の推進

■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」

- ・水木プロダクションをはじめとする関連企業や水木氏と縁が深い鳥取県や境港市と連携して、「水木しげる氏生誕100周年記念プロジェクト」を展開し、市内のにぎわいを創出した。

②調布のまちの魅力発信

- ・観光協会が新たに発行した「水木マンガの生まれた街 ゲゲゲの調布ガイド」の作成支援や各種イベントでの配架などを実施した。
- ・アニメコンテンツを活用したイベントの開催やパンフレットの配架など、アニメ聖地としての取組を推進した。
- ・水木キャラクターを活用した「水木マンガの生まれた街 調布」の推進に向けた取組として、市庁舎2階で水木キャラクターを活用した壁面ラッピングを行ったほか、調布市二十歳のつどいの記念品、ふるさと納税返戻品などへの活用を新たに行った。

◆（参考）令和元年度～令和3年度における施策の成果向上に向けた主な取組実績

【令和元年度】

「映画のまち調布」の推進では、映画・映像を「つくる」「楽しむ」「学ぶ」をテーマに、映画・映像関連企業と連携した取組の件数を前年度比4件（実績42件）増加することができた。また、狛江市・日の出町と連携した官民一体のロケツーリズム施策を展開したことにより、撮影実績件数を前年度比24件（実績133件）増加することができた。

地域資源を活用したにぎわいの創出や、多様な主体と連携した観光事業の推進では、観光協会をはじめとした各種団体・関連事業者との緊密な連携により、ラグビーワールドカップ2019の開催を契機とした国内外からの多くの来訪者に対して、深大寺や調布ならではの地域資源のPRにつなげられたほか、「ゲゲゲ忌」や映画のまち調布花火の開催によるにぎわいの創出等、観光振興の取組を推進することができた。

【令和2・3年度】※新型コロナウイルス感染症の影響有

新型コロナウイルス感染症の影響により、観光振興施策の推進が困難な状況であったが、多くの事業が中止となる中、創意工夫や感染防止策の徹底をしながら、実施可能な事業に取り組んだほか、観光振興の中心的な役割を担う観光協会をはじめ、多様な主体と連携し、観光振興に資する取組の推進によるにぎわいの創出に努めた。

「映画のまち調布」の推進では、イオンシネマ シアタス調布を含む映画・映像関連企業や団体と連携し、映画・映像を「つくる」「楽しむ」「学ぶ」をテーマとした取組の推進を図った。フィルムコミッションについては、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底したうえで、積極的なロケ支援に努め、撮影実績等をホームページなどで公表することで、地域の魅力向上につなげる取組を推進した。また、昭和48年から調布市に拠点を移し、活動を続けてきた石原プロモーションが令和3年1月16日に解散したことを受けて、感謝の思いを込め、石原プロモーション制作のドラマや映画・音楽に関連した展示、グッズの販売等を行った。ロケツーリズムの取組については、観光庁の補助金を活用した新たなロケツーリズムコンテンツを制作したほか、市長会の補助金を活用した3市町（調布市、狛江市、日の出町）による展開を継続するとともに、ロケーションジャパン大賞において、市と映画「花束みたいな恋をした」がグランプリを受賞した。

「水木マンガの生まれた街 調布」の推進については、名誉市民・水木しげる氏の御功績を称え、広く市民と偲ぶ取組である「ゲゲゲ忌」を、感染防止対策を徹底したうえで、水木プロダクションや東映アニメーション等と連携して開催した。コロナ禍にも関わらず、市内外から多くの方に参加していただくことができ、にぎわいの創出につなげることができた。

- ・特色ある観光事業の推進に向けて、古刹・深大寺を核とする魅力の発信を図るため、観光協会や深大寺地域の団体等と連携し、深大寺周辺の観光振興及び地域経済の回復・再活性化を目的とした「深大寺周辺店舗スタンプラリー」の開催や、「深大寺周辺散策マップ」（深大寺そば組合・深大寺奉賛会加盟店の案内）の発行を支援した。

- ・石巻観光協会との友好交流協定の締結や、映画関連企業と連携した撮影体験ワークショップの実施に加え、姉妹都市である木島平村で花火の打上げを行った。

その他にも、オンライン配信の活用や、各種関連企業と連携したSNS等の広告媒体を活用した情報発信により、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」など、地域資源を活用した調布のまちのPRにつなげたほか、観光協会との連携を中心に、深大寺をはじめとする寺社仏閣や、京王電鉄を核とした沿線他市との連携、東京観光財団の協力によるオンラインツアーの実施など、既存の観光事業の出来る限りの継続に努める中で、新たな事業にも取り組んだ。

施策における2つのアクション(①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)の視点に基づく主な取組実績

①横断的連携による施策の推進

■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」

【令和元年度】

- ・映画・映像関連企業・団体との連携による「映画のまち調布」を推進した。
- ・近隣自治体や民間事業者等との連携によるロケツーリズムを推進した。
- ・深大寺や近藤勇等の地域資源を活用した取組を推進した。
- ・水木プロダクション、東映アニメーション、イオンシネマ シアタス調布等と連携し、水木しげる氏生誕100周年を見据えた「水木マンガの生まれた街 調布」を推進した。
- ・市民及び観光客のシェアサイクルを活用した市内回遊性・利便性の向上について、交通施策との連携やシェアサイクルの管理・設置事業者と連携し、サイクルポートの拡充に取り組んだ。

【令和2・3年度】※新型コロナウイルス感染症の影響有

- ・映画・映像関連企業や団体との連携による「映画のまち調布」を推進した。
- ・近隣自治体や民間事業者等との連携によるロケツーリズムに取り組んだ。
- ・水木プロダクション、東映アニメーション、イオンシネマ シアタス調布等と連携し、水木しげる氏生誕100周年を見据えた「水木マンガの生まれた街 調布」を推進した。
- ・観光協会との連携を中心に、深大寺をはじめとする寺社仏閣や、京王電鉄を核とした沿線他市との連携、東京観光財団の協力によるオンラインツアーの実施など、既存の観光事業の出来る限りの継続に努める中で、多様な主体と連携した新たな事業にも取り組んだ。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、観光振興施策の推進が困難な状況であったが、観光協会と協力し、京王電鉄、京王線沿線他市、石巻観光協会及び木島平村など、市外の関連団体との連携にも力を入れ、観光振興に向けて取り組んだ。

■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」

【令和元年度】

- ・国内外からの来訪者が増加したラグビーワールドカップ2019開催期間に合わせ、調布ならではのイベントを多様な主体との連携によって実施することにより、調布の地域資源をPRし、レガシーの創出につなげた。

【令和2・3年度】

なし。

②調布のまちの魅力発信

【令和元年度】

- ・2つの撮影所をはじめ、約40社以上の映画・映像関連企業が集積する「映画のまち調布」をPRするとともに、フィルムコミッションの積極的な取組によるロケツーリズムを推進した。
- ・SNSをはじめ、多様な媒体を活用した効果的な情報発信により、古刹・深大寺や「水木マンガの生まれた街 調布」等の地域資源を積極的にPRした。
- ・「ゲゲゲの鬼太郎2019」において、声優のトークショー付きアニメ上映会などを開催し、各種関連企業とともに、SNS等の広報媒体を活用して、「水木マンガの生まれた街 調布」の取組を広くPRした。
- ・観光協会の公式ホームページや市のホームページをはじめ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる情報発信を積極的に行った。

・調布市観光案内所「ぬくもりステーション」にて、市内外からの来訪者に向けた観光情報の発信を行ったほか、インバウンド対策として、調布駅を中心としたWi-Fi整備や多言語観光情報サイト「Guidoor」(日本語のほか9か国語に翻訳)を活用した観光スポットの情報発信を行った。

【令和2・3年度】※新型コロナウイルス感染症の影響有

- ・新型コロナウイルス感染症の影響下においても、「映画のまち調布」をPRするとともに、感染拡大防止策を講じたうえでの積極的なフィルムコミッションの取組によるロケツーリズムを推進した。
- ・オンライン配信の活用や、各種関連企業と連携したSNS等の広告媒体を活用した情報発信により、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街調布」など、地域資源を活用した調布のまちのPRにつなげた。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、発信機会は減少したが、観光協会の公式ホームページや市のホームページをはじめ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる情報発信を行った。

◆まちづくり指標の現状把握

まちづくり指標	単位	実績値				目標値	指標の推移※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和4年度
1 「映画のまち調布（映画・映像を"つくる・楽しむ・学ぶ"まち）」を進める取組に満足している市民の割合	%	75.7	78.2	78.6	76.6	75	◎
2 観光案内所への来所者数	人	9万8,579	2万8,683	2万8,068	6万2,090	10万	○
3 調布市観光協会発信のSNSのフォロワー数	人	7,000	7,600	8,891	1万150	1万	◎

※令和4年度における指標の推移は、以下の区分により記号を記入

◎：目標値を達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ）
 -：数値未把握（調査未実施など）

◆指標でみる後期基本計画期間内（令和元年度～令和4年度）の達成状況

各指標の達成状況及び説明	
No. 指標名	
説明（目標達成・未達成の要因、課題、今後の取組の方向等）	
1 「映画のまち調布（映画・映像を"つくる・楽しむ・学ぶ"まち）」を進める取組に満足している市民の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルムコミッションや、「映画のまち調布 シネマフェスティバル」などの取組の成果が表れている。
2 観光案内所への来所者数	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、ラグビーワールドカップ2019の開催により、市への来訪者が増加し、目標達成見込みであったが、令和2年2月から新型コロナウイルス感染症の影響で来訪者数が激減したため、目標を達成することができなかった。 ・令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値に大きく届いていない。 ・令和4年度の実績においては、回復傾向が見られる。
3 調布市観光協会発信のSNSのフォロワー数	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響がありつつも、SNSによる調布のPRを継続した結果、目標を達成することができた。

≪参考≫前期基本計画（令和5年度～令和8年度）における「まちづくり指標」

まちづくり指標	まちづくり指標の考え方	単位	基準値	目標値
観光案内所への来所者数	地域資源を活用した観光施策の展開や効果的な情報発信に努めることで、観光案内所への来訪者数をコロナ禍以前よりも増加させることを目標とした。	人	2万8,068 令和3年度	10万 令和8(2026)年度
「映画のまち調布」を進める取組に満足している市民の割合	映画・映像を「つくる」「楽しむ」「学ぶ」をテーマとした「映画のまち調布」ならではの取組を一層推進し、市民の満足度を向上させることを目標とした。	%	76.6 令和4年度	80.0 令和8(2026)年度
数々の水木作品が調布市で生み出されたことを認知している市民の割合	名誉市民・水木しげる氏の作品や世界観を後世に伝えつつ、まちづくりに生かす取組を推進するため、調布市が「水木マンガの生まれた街」であることを認知している市民の割合を、高い水準で保つことを目標とした。	%	96.5 令和4年度	98.5 令和8(2026)年度

2 令和4年度の振り返り及び後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の取組状況 — 評価（CHECK）

◆ 施策の成果向上に向けて、令和4年度及び後期基本計画（令和元年度～令和4年度）に実施した取組に対する評価

総合評価 (令和4年度)	A	<p>S：「実施した取組において顕著な取組成果が得られた。」</p> <p>A：「実施した取組において予定した取組成果が得られた。」</p> <p>B：「実施した取組において一定程度の取組成果が得られた。」</p> <p>C：「実施した取組においてあまり成果が得られなかった。」</p> <p>D：「実施した取組において成果が得られなかった。」</p>
総合評価理由	<p>令和4年度における施策の成果についての総括（総合評価の理由）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が少なからずあったものの、観光振興の中心的な役割を担う観光協会をはじめ、多様な主体と連携し、国や東京都のイベント実施基準を遵守したうえで、多くの観光イベントを実施し、観光振興によるにぎわいの創出や調布の魅力発信につなげることができた。</p> <p>特に、令和4年度は、名誉市民・水木しげる氏の生誕100周年の節目の年であることを記念して、「水木しげる氏生誕100周年記念プロジェクト」を展開することで、従来からのファンはもとより、子どもから大人まで幅広い世代の方が水木氏の作品に触れる機会を増やし、「水木マンガの生まれた街調布」の更なる推進を図ることができた。</p>	
総括評価 (令和元年度から令和4年度)	A	<p>S：「計画期間中に実施した取組において顕著な取組成果が得られた。」</p> <p>A：「計画期間中に実施した取組において予定した取組成果が得られた。」</p> <p>B：「計画期間中に実施した取組において一定程度の取組成果が得られた。」</p> <p>C：「計画期間中に実施した取組においてあまり取組成果が得られなかった。」</p> <p>D：「計画期間中に実施した取組において成果が得られなかった。」</p>
総括評価理由	<p>後期基本計画（令和元年度～令和4年度）における施策の成果についての総括（総括評価の理由）／今後に向けた課題・懸案事項</p> <p>（総括）</p> <p>令和元年度は、ラグビーワールドカップ2019の開催を契機として、商工会、観光協会、商店会、市内事業者等多様な主体と連携し、調布駅を中心に、過去最大のにぎわいの創出を図ることができ、地域経済活性化や調布のPRに大きくつながった。</p> <p>しかし、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市や観光協会だけでなく、市内の観光イベントの中止が相次ぎ、観光振興施策の推進が困難な状況であったが、観光振興の中心的な役割を担う観光協会をはじめ、多様な主体と連携し、地域資源を活用した調布のPRを継続するとともに、創意工夫により実施可能な事業に取り組むことにより、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街調布」の推進をはじめとする観光振興施策の展開を図ることができた。</p> <p>（課題・懸案事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「多様な主体との連携による地域資源を活用したにぎわいの創出」では、脱コロナへの対応として、市内の有効な地域資源である深大寺や神代植物公園などのにぎわいを創出するため、インバウンドをはじめとする来訪者数の増加の方策の検討が必要である。 ・「映画のまち調布」の推進では、市内の映画・映像関連企業や市民団体との連携の下、映画・映像を「つくる」「楽しむ」「学ぶ」をテーマとした各種事業を実施しているが、新たな展開の必要性も感じている。 ・「水木マンガの生まれた街調布」の推進では、水木氏の生誕100周年（令和4年）を契機として、水木氏の作品や世界観を後世に伝えつつ、まちづくりにも生かす施策を具現化していく必要がある。 	

3 中長期的な施策の方向（2030年代を見据えた方向） — （ACTION）

◆ 施策を取り巻く状況（国、東京都・近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
全国的な潮流・傾向等	<p>①国連世界観光機関（世界観光指標2023年5月号）</p> <p>2023年の国際観光は、好調な滑り出しを反映し、観光が完全に回復軌道に乗ったことを示している。</p> <p>第1四半期には、2022年同時期の2倍の人が旅行し、国際観光はパンデミック前の水準への回復に向けて順調に推移した。併せて、国際観光収入は、国際観光の顕著な回復により、増加している。</p> <p>国際観光の効果的な回復を左右する主な要因は経済状況であることには変わりはなく、インフレ率の高まりや原油価格の上昇が輸送費や宿泊費の上昇につながっている。その結果、観光客はより多くの対価を求め、自国に近い場所を旅行するようになると予測されている。また、ロシアの対ウクライナ侵攻やその他の地政学的緊張の高まりに起因する不確実性も、引き続き下振れリスクとして存在している。</p>	<p>①②③脱コロナに向けた社会情勢を見極めつつ、Wi-Fi環境の整備や観光マップ等の多言語対応など、観光客の受入れ環境の整備に取り組むほか、継続的にコンテンツの磨き上げを行うとともに、アニメやロケを活用したツーリズムの展開を図っていく。</p> <p>④深大寺開創1300年を見据え、関連する団体等と連携し、深大寺をはじめとした周辺地域の魅力発信を図っていく。</p>

	<p>②観光庁「観光ビジョン実現プログラム2020」</p> <p>(1) 国内の観光需要の回復と観光関連産業の体質強化 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光需要が大幅に減少し、観光関連産業に深刻な影響が生じている。このため、まずは雇用の維持・事業の継続の支援に注力するとともに、反転攻勢に転じるための基盤を整備し、感染の状況等を見極めつつ、強力な国内需要の喚起策を講じ、国内観光の回復を図る。その上で、国・地域ごとの感染収束を見極め、誘客可能となった国等からインバウンドの回復を図る。</p> <p>(2) インバウンド促進に向け引き続き取り組む施策 国内外の感染症の状況を十分に見極めつつ、インバウンドの再開に備え、これまで進めてきた受入環境整備や新たなコンテンツづくりに引き続き戦略的に取り組む。</p>
東京都や近隣自治体の動向等	<p>③東京都「未来の東京」戦略ビジョン（令和元年12月策定）</p> <p>(1) 戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略 「オールジャパンでの戦略的な観光振興プロジェクト」の中で、「東京と日本各地がWin-Winとなるようなオールジャパンでの広域的・戦略的な観光振興」、「官民一体のオール東京による観光振興の推進」を掲げ、訪都外国人旅行者数3000万人超を目指すとともに、「体験・まち歩きスマート観光プロジェクト」や「魅力ある観光コンテンツ創出プロジェクト」により、誰もがストレスなく観光を楽しめる環境の実現や訪都外国人旅行者による消費額2.7兆円超、国際会議開催件数世界3位以内を目指す。</p>
その他	<p>④深大寺は、2033年に開創1300年を迎える。</p>

◆前期基本計画期間（令和5年度～令和8年度）における中長期的な取組の方向

<ul style="list-style-type: none"> 観光協会の運営を支援するとともに、多様な主体との連携を通じて、観光振興に資する取組を推進することにより、にぎわいの創出や来訪者の回遊性の向上につなげる。 市内の映画・映像関連企業や市民団体と連携し、映画・映像を「つくる」「楽しむ」「学ぶ」をテーマとした各種事業を実施することにより、広く市民に映画に親しんでもらうとともに、フィルムコミッション事業やロケツーリズムの推進により、「映画のまち調布」のPRや地域経済の活性化につなげる。 「水木マンガの生まれた街 調布」の更なる推進につなげるため、新たな事業展開や水木氏の作品や著作に触れる機会の創出に注力することで、子どもから大人まで幅広い世代に興味を持っていただく取組を展開する。 	
<p>施策の推進、成果向上の視点を踏まえた具体的な取組</p>	
デジタル技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> SNSなどのデジタル技術を活用し、市の魅力や観光情報を効果的に発信することで、集客・回遊・消費の好循環のサイクルの創出を図る。
共創のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 調布市観光協会のほか、深大寺、映画・映像関連企業、水木プロダクション等と連携し、地域の魅力を高める取組を検討・推進する。 市内事業者や、市に関係する企業等と連携した、ふるさと納税の返礼を通じて、市や市内事業者の魅力発信に取り組む。
脱炭素社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量が少ない環境にやさしい移動手段として、シェアサイクルの普及啓発に取り組むとともに、シェアサイクルを含む自転車を利用した市内回遊の促進に取り組む。
フェーズフリー	<ul style="list-style-type: none"> 調布市観光協会と連携し、テントなどのイベント用機材・備品類を、災害時にも避難所等で活用できるよう、体制整備や対応マニュアルの策定等に取り組む。

施策19 「魅力ある観光の振興」に関連する基本計画事業

前期※	計画コード	63	重点P	—			
事務事業	調布市観光協会事業の促進					総合戦略	●
後期※	計画コード	57	重点P	—			
事務事業	調布市観光協会事業の促進					総合戦略	●
所管部署	生活文化スポーツ部 産業振興課 商業観光係						
事業概要	<p>調布市観光協会の運営を支援するとともに、多様な主体との連携を通じて、観光振興に資する取組を推進することにより、にぎわいの創出や来訪者の回遊性の向上につなげる。</p> <p>また、深大寺の開創1300年（令和15（2033）年）を見据え、観光協会が実施する深大寺、都立神代植物公園、地域団体等との連携した取組や調布市観光ボランティアガイドの活動をより一層支援し、来訪者の増加や深大寺周辺地域の効果的な魅力発信を推進する。</p>						

※前期の欄には、前期基本計画（令和5年度～令和8年度）、後期の欄には後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の内容を表記しています。

【PLAN▶DO▶CHECK】

活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和4年度		
		（計画）	（当初予算）	（決算・実績）
○観光協会の運営支援と市がパイプ役となり観光協会と他団体との連携を図ることにより観光事業を振興する	○観光協会の運営支援（観光協会事業の実施）	○観光協会の運営支援（観光協会事業の実施）	○観光協会の運営支援（観光協会事業の実施）	○観光協会の運営支援（観光協会事業の実施）
事業費（千円）	20,918	24,849	24,251	
債務負担行為等による用地取得費	0	0	0	

令和4年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり	<input type="checkbox"/> 計画遅れ	<input type="checkbox"/> 計画前倒し	実績評価	◎
-----------	---	-------------------------------	--------------------------------	------	---

説明	<p>観光協会をはじめとする多様な主体と連携し、コロナ禍における国や東京都のイベント実施基準を遵守したうえで、創意工夫により実施可能な事業に取り組んだ。観光協会が実施する一部の事業については、中止や規模の縮小を余儀なくされたが、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」の推進に資する事業を観光協会と連携して実施したほか、3年ぶりの開催となった「調布観光フェスティバル」や「深大寺 春の和めぐり」などの運営支援を通じて、にぎわいの創出に努めた。</p> <p>また、深大寺周辺の観光振興及び地域経済の再活性化を図るために、観光協会が発行した「深大寺散策マップ」の改訂を支援したほか、「映画のまち調布」をはじめ、基本計画に掲げた取組と連動した事業を積極的に支援し、観光振興を図ることができた。</p> <p>令和4年度は、名誉市民・水木しげる氏の生誕100周年（令和4年）を記念し、「水木しげる氏生誕100周年記念プロジェクト」として、観光協会に加え、水木プロダクションをはじめとする関連企業・自治体と連携し、様々な取組を展開した。観光協会が発行した「ゲゲゲの調布ガイド」作成や各種イベントでの配布を支援し、水木しげる氏の世界観や功績を後世に伝えつつ、まちづくりにも生かす取組を大きく推進した。また、観光振興や平和祈念をはじめとする関連施策を有機的に連動させ、水木氏の作品や著作に触れる機会の創出に注力することで、従来からのファンはもとより、本プロジェクトを契機として、子どもから大人まで幅広い世代に興味を持ってもらい、「水木マンガの生まれた街調布」の更なる推進により、調布の魅力向上につなげた。</p>
----	--

【ACTION】

今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 有効性改善	<input type="checkbox"/> 効率性改善	<input type="checkbox"/> 財政面改善	<input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善
-------	--	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------------

今後の取組の方向	<p>多様な主体との連携による地域資源を活用したにぎわいの創出、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」の推進といった、基本計画に掲げた各取組に継続的に取り組むとともに、SNS等を活用し、広く調布の魅力を発信していく。</p> <p>古刹・深大寺を核とした魅力の発信では、深大寺周辺の観光振興及び地域経済の再活性化を図るために、深大寺や都立神代植物公園、地域団体との相互連携を図り、各種イベントの実施や深大寺周辺地域の効果的な魅力発信に努める。また、観光客の増加に向けた取組として、深大寺観光案内所の運営支援や深大寺周辺の無料ガイドツアーの実施など、観光ボランティアガイドの活動をより一層支援する。</p> <p>また、令和5年度に4年ぶりの開催となる「調布花火」を、新たな市民生活の幕開けの合図と位置付け、調布の魅力を広く発信し、にぎわいの創出につなげる。</p>
----------	---

施策19 「魅力ある観光の振興」に関連する基本計画事業

前期※	計画コード	64	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち	総合戦略	●
	事務事業	「映画のまち調布」の推進				総合戦略	●
後期※	計画コード	56	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち	総合戦略	●
	事務事業	「映画のまち調布」の推進				総合戦略	●
所管部署 生活文化スポーツ部 産業振興課 商業観光係							
<p>事業概要</p> <p>映画・映像に関する地域資源を活用し、「映画のまち調布」の取組を推進することで、観光及び文化の振興を図る。市内の映画・映像関連企業や市民団体と連携し、映画・映像を「つくる」「楽しむ」「学ぶ」をテーマとする、世代に合わせた各種イベントを実施することにより、広く市民に“映画”に親しんでもらうとともに、フィルムコミッション事業やロケツーリズムの推進により、「映画のまち調布」のPRや地域経済の活性化につなげていく。</p>							

※前期の欄には、前期基本計画（令和5年度～令和8年度）、後期の欄には後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の内容を表記しています。

【PLAN▶DO▶CHECK】

活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和4年度		
		（計画）	（当初予算）	（決算・実績）
○市内映画・映像関連の地域資源を活用した観光・文化・産業などの分野における地域活性化の促進	○フィルムコミッション事業の推進 ○ロゴマークの活用、促進 ○映画関連イベントの実施 ○市内映画・映像関連企業との連携した地域活性化の取組 ○広域連携によるロケツーリズムの推進	○フィルムコミッション事業の推進 ○ロゴマークの活用、促進 ○映画関連イベントの実施 ○市内映画・映像関連企業との連携した地域活性化の取組 ○広域連携によるロケツーリズムの推進	○フィルムコミッション事業の推進 ○ロゴマークの活用、促進 ○映画関連イベントの実施 ○市内映画・映像関連企業との連携した地域活性化の取組 ○広域連携によるロケツーリズムの推進	○フィルムコミッション事業の推進 ○ロゴマークの活用、促進 ○映画関連イベントの実施 ○市内映画・映像関連企業との連携した地域活性化の取組 ○広域連携によるロケツーリズムの推進
事業費（千円）		13,763	13,872	13,490
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

令和4年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり	<input type="checkbox"/> 計画遅れ	<input type="checkbox"/> 計画前倒し	実績評価	◎
-----------	---	-------------------------------	--------------------------------	------	---

説明	<p>フィルムコミッション事業については、制作者の要望に応じた丁寧なロケ支援に努め、91件の撮影支援を行うとともに、撮影支援実績をホームページやSNSで公表することで、調布の魅力向上につなげた。また、市庁舎2階壁面において、「『映画のまち調布』撮影支援実績コーナー」を新設し、俳優等のサインを約50枚展示することで、来庁者に対し「映画のまち調布」のPRを行った。</p> <p>「映画のまち調布」応援キャラクター ガチャラを活用した冊子「ガチャラのみっちりシネマ道」を作成し、様々なイベント等で配布することで、調布市が「映画のまち」であることを、広く紹介した。</p> <p>「映画のまち調布 シネマフェスティバル2023」において、映画・映像関連企業や団体と連携し、井上あずみファミリーコンサート、ちょうふ親子映画上映会、「映画のまち調布」みんなのワークショップ～撮影・照明編～、「映画のまち調布」紹介&俳優サイン・衣装展示、高校生フィルムコンテスト上映会、カナダ・ケベック州関連イベントを開催した。そのほか、映画・映像を「つくる」「楽しむ」「学ぶ」をテーマとして、乳幼児とその保護者を対象とする「みる」母と子の映画寺屋上映会、中学生を対象とする「調布ジュニア映画塾」、高校生を対象とする「高校生フィルムコンテスト」など、世代に合わせたイベントを実施した。</p> <p>ロケツーリズムの推進に資する取組としては、調布市をメイン舞台として撮影された映画「愛のこむらがえり」のロケ地マップを作成し、シネマフェスティバル内で開催した先行特別上映会&トークショーなどで広く配布した。また、映画「花束みたいな恋をした」の市内ロケ地11箇所を1日で巡る「1Dayモデルコース」を考案するとともに、株式会社地球の歩き方と連携し、同社が運営する多言語版サイト「GOODLUCK TRIP」でこうした情報の配信（中国語（繁体字・簡体字）、日本語）を開始することで、来るインバウンドに向けた取組も推進した。</p>
----	---


【ACTION】

今後の方向	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善
今後の取組の方向	令和5年度においても、引き続き、映画・映像を「つくる」・「楽しむ」・「学ぶ」をテーマとして、世代に合わせた様々なイベントを展開する。また、「映画のまち調布」応援キャラクター ガチャラを活用したPRに取り組むほか、市内の映画・映像関連企業や団体と積極的に連携することで、「映画のまち調布」の推進を図る。あわせて、これまでのフィルムコミッションの取組を通じて得た、著作権処理のノウハウを生かし、調布市内で撮影された映画やドラマ等の情報発信を効果的に行うとともに、市庁舎2階「『映画のまち調布』撮影支援実績コーナー」も活用しながら、調布の魅力発信・向上を図る。

施策19「魅力ある観光の振興」に関連する基本計画事業

前期※	計画コード	65	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち	総合戦略	●
後期※	計画コード		重点P			総合戦略	
所管部署 生活文化スポーツ部 産業振興課 商業観光係							
事業概要 名誉市民・水木しげる氏の作品や世界観を後世に伝えつつ、まちづくりに生かす取組について、(株)水木プロダクションをはじめとする関連企業等と連携して展開する。 また、「水木氏の生誕100周年(令和4年)」を契機として、「水木マンガの生まれた街 調布」の更なる推進につながるため、新たな事業展開や水木氏の作品や著作に触れる機会の創出に注力することで、子どもから大人まで幅広い世代に興味を持っていただき、認知度向上による新たなファン層の獲得を図る。							

※前期の欄には、前期基本計画(令和5年度～令和8年度)、後期の欄には後期基本計画(令和元年度～令和4年度)の内容を表記しています。

【PLAN▶DO▶CHECK】				
活動内容(事業費ベース)	計画目標	令和4年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	事業費(千円)			
	債務負担行為等による用地取得費			
令和4年度取組実績	<input type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し			実績評価 <input checked="" type="radio"/>
説明	名誉市民・水木しげる氏の生誕100周年(令和4年)を記念し、水木プロダクションをはじめとする関連企業等と連携して「水木しげる氏生誕100周年記念プロジェクト」に取り組んだ。 水木氏の命日である11月30日を「ゲゲゲ忌」とし、水木氏を偲(しの)ぶことを目的に例年実施している「ゲゲゲ忌2022」では、調布駅前広場でのイベントやスタンプラリー、アニメ特別上映会などを実施し、子どもから大人まで幅広い世代が水木作品に触れる機会を創出した。調布駅前広場では、キャラクターグリーティングやキャラクターショーをはじめ、鳥取県物産展、境港市のカニ汁販売、コスプレイベントを行う「ゲゲゲ横丁・ゲゲゲの森」を開催し、来場者数約25,000人を記録した。また、水木氏のゆかりの地をめぐる「ゲゲゲのスタンプラリー」では、参加者数約10,000人を記録し、市内のにぎわいの創出につながった。 さらに、「水木しげる氏生誕100周年記念プロジェクト」の一環として、東京都の「アニメ等コンテンツを活用した誘客促進事業費補助金」を活用し、「調布市名誉市民・水木しげる氏生誕100周年記念イベント」を開催した。調布市グリーンホール大ホールにて、第1部を子ども向けとして、アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」第6期の上映会やキャラクターショーを行い、第2部を一般向けとして、活動弁士・坂本頼光氏の活弁、小説家・京極夏彦氏の講演を開催(オンライン配信も同時実施)した。来場者数は1,010人(オンライン視聴数3,581回)を記録したことで、調布市の魅力を市内外に発信するとともに、子どもから大人まで幅広い世代に、水木作品に興味を持っていただく機会となった。 あわせて、同補助金を活用し、水木氏の生誕日である3月8日に合わせ、アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」第6期に登場した市内のスポットを巡る謎解き周遊イベント「調布市内周遊謎解きラリー」を開催した。謎解きラリー達成者(1,314人を記録)には、イベントオリジナルの記念品を贈呈し、従来のファンはもとより、一般の方にもイベントを楽しんでもらうなど、新たなファン層の獲得や、調布市への観光客の誘客に繋がった。 また、観光協会が新たに発行した「水木マンガの生まれた街 ゲゲゲの調布ガイド」の作成を支援し、各種イベントでの配架を実施することで、水木氏の生い立ちや、調布との関わりを広く周知した。 水木キャラクターを市庁舎壁面のラッピングや調布市二十歳のつどい記念品、ふるさと納税返戻品などに新たに活用することで、「水木マンガの生まれた街 調布」の更なる推進を図った。			
				
【ACTION】				
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	観光協会や(株)水木プロダクションをはじめとする関連企業、水木氏とも縁が深い鳥取県や境港市等と連携し、「ゲゲゲ忌」等における発展的な取組の実施を含め、水木しげる氏の作品や世界観に触れる機会の創出に注力することで、子どもから大人まで幅広い世代に興味を持っていただき、「水木マンガの生まれた街 調布」の更なる推進や認知度の向上につなげ、にぎわいの創出を図る。 また、水木氏の作品や世界観を後世に伝えつつ、まちづくりに生かす施策の具現化に取り組む。 あわせて、水木氏の生誕100周年を記念して調布市観光協会が発行した「水木マンガの生まれた街 ゲゲゲの調布ガイド」や、アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」第6期で登場した調布市内のスポットをまとめた「聖地巡礼マップ総集編」を活用し、「水木マンガの生まれた街 調布」の魅力を広く発信することで、調布市への観光客誘致の促進を図る。			